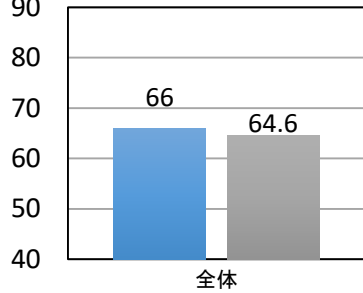
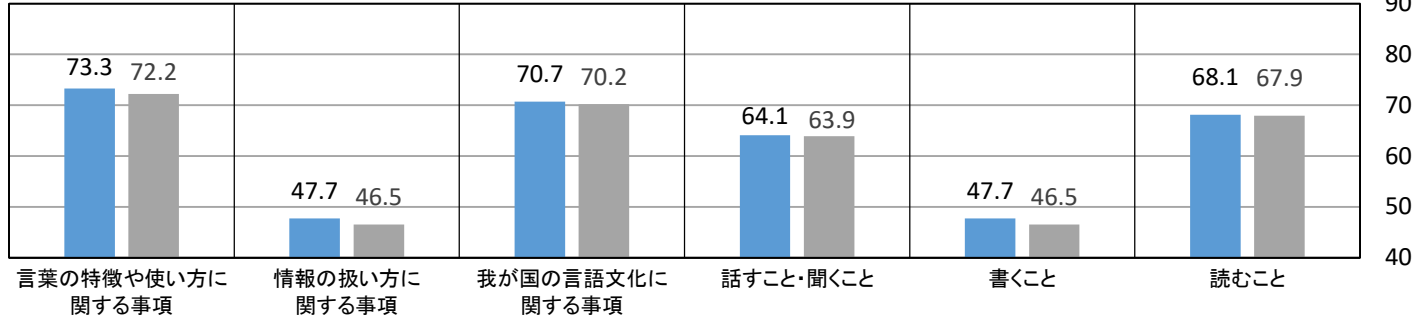


調査結果

平均正答率（%）



学習指導要領の領域等の平均正答率（%）



分析Ⅰ

言葉の特徴や使い方 本調査問題3-2

事象や行為、心情を表す語句について理解することに課題が見られる。

◆考察◆

事象や行為、心情を表す語句について理解する学習では、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉え、その語句が文章の中で果たしている役割を考えさせることが大切である。指導に当たっては、文章で使われている語句の意味を確認させるとともに、文章の中で他の表現と関連付けて考えさせることが必要である。

授業アイデア例

言語活動：これからの時代を生きていく自分へ、登場人物の立場から手紙を書こう

第一次

- 単元の見直しをもち、作品が書かれた時代背景が分かる動画を視聴する。
- 本文を通読し、初発の感想を書き、交流する。

前時の人物の様子の変化を捉えたことを踏まえて、本時は故郷の描写について注目し、その変化を捉えましょう。

「わびしい村々」	現在の故郷	「わびしい」という言葉は聞いたことがあるけど、意味は？と聞かれたら、なんと説明すればいいかなあ...
「寂しい」という言葉と近い意味なんじゃないかな。	過去の故郷	文章中に「わびしい村々」の様子を表現している部分を探したら、意味が分かるんじゃない？

「寂しい」という言葉と近い意味なんじゃないかな。

文章中に「わびしい村々」の様子を表現している部分を探したら、意味が分かるんじゃない？

第二次

- 過去と現在の人間関係について読み取る。
- 故郷の変化について読み取る。…本時
- 「悲しむべき厚い壁」、最終場面の情景描写について考える。

現在の故郷の描写がたくさんあるよ。情景描写も踏まえて書き出していくと、「わびしい」という言葉がイメージできるね。

国語辞典には、「ひどく物静かでさびしいさま」と載っていたよ。文章中の描写でも、その様子がたくさん表現されているね。

第三次

- 現在の社会情勢についてデータを確認する。
- 登場人物の立場で手紙を書く
- 手紙を読み合い、感想を伝え合う。
- 単元の振り返りを行う。

「わびしい」の対義語を調べると、「にぎやか」と載っていたよ。確かに、過去の故郷の描写を抜き出していくと、にぎやかな故郷が描かれているね。

語彙力を高めるために、1つの語句の意味について、辞書的な意味だけではなく、文章中の他の表現との関係を意識させることが大切ですね。

分析Ⅱ

読むこと 本調査問題3-4

場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することに課題が見られる。

◆考察◆

場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する学習では、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりすることによって、場面や描写に新たな意味付けを行わせることが大切である。指導に当たっては、言葉による見方・考え方を働かせ、本文中の言葉や表現、描写に注目させることが必要である。

授業アイデア例

言語活動：場面の展開や人物描写を関連付けて、「エーメール」の立場で日記を書こう

第一次

- 単元の見直しをもち、本文を通読する。初発の感想を書き、交流する。

単元のゴールである「エーメール」の立場で日記を書くために、それぞれの登場人物の視点からの人物像をまとめ、比較しましょう。

第二次

- この作品が額縁構造であることを確認し、前半部分と後半部分の登場人物の人物相関図を作る。
- 場面展開や人物描写に着目して、「僕」の心情の変化を読み取る。
- 「僕」から見た「エーメール」の人物像、「エーメール」から見た「僕」の人物像をクラゲチャートにまとめ、比較する。…本時

本文の言葉から考えられる人物像（自分の言葉で）

エーメールから見た僕

僕から見たエーメール

比較

人物像が分かる本文の言葉

二つのクラゲチャートを比較しよう

課題 僕とエーメールはお互い何をどう思っていたのか。

めあて エーメールの立場で日記を書こう。

少年の日の思い出

第三次

- 「エーメール」の視点で、日記を書く。
- リライト作品を読み合い、互いの人物像について感想を伝え合う。
- 単元の振り返りを行う。

本文では、「僕」の視点から書かれている「エーメール」なので、視点を換えることで、人物描写や場面の展開について考えを深めることができたね。

クラゲチャートを説明させる際にも、「本文中の○○という言葉から〜という人物だと考えた」という話型にさせるなど、言葉による見方・考え方を意識させることが大切です。

タブレットのロイロノート・スクールでも思考ツールを活用することができます。互いの考えを比較したり交流したりすることもできるので、積極的に活用しましょう。